

事業番号	11 06 03	事業改善シート (27年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	通常砂防費				担当課	部局	建設部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	砂防課		
	施策の総合的展開	4-1 地域防災力の向上 4 災害に強い地域づくり			E-mail	sabo@pref.nagano.lg.jp		
					実施期間	M31 ~		

### 1 事業の概要

目指す姿	<p>○砂防法第2条により指定された砂防指定地における砂防工事で、国庫補助対象となる箇所について砂防設備の整備を行い、土石流による災害から住民の皆さんの生命・財産を保全する。</p> <p>○土砂災害時に人的被害の割合が高い要配慮者利用施設のうち、レッドゾーン(土砂災害特別警戒区域)内に立地する55施設について、平成29年度までに対策に着手する。</p>				
現状(予算編成時)	<p>○土石流による土砂災害の恐れがある箇所の整備率は平成25年度末において21.1%であり、急峻な地形と脆弱な地質を有する本県には、対策必要箇所が多数存在する。</p> <p>○重点的に対策を進めているレッドゾーン内の要配慮者利用施設55施設について、平成26年度末までの対策着手施設数は45施設となる見込である。</p>				
県が関与する理由	県でなければ実施不可(法令等義務)	【左記の説明、根拠法令等】 砂防法第5条、第13条			
	県民との協働による実施：実施は困難				
成果目標・事業内容	① 成果目標 (H27)				
	<p>○レッドゾーン内の要配慮者利用施設対策着手数 51施設</p> <p>○2月補正(国補正対応分)により上記対策箇所の進捗を図る。</p>				
	② 事業内容 (単位:千円)				
	項目	実施方法	H27事業実績		
			(当初)	(決算)	H28(当初)
通常砂防事業	直接	武道沢他101箇所において、砂防堰堤工、溪流保全工、測量設計、用地補償等を実施した。			
		4,972,000	6,356,239	4,515,200	
		合計	4,972,000	6,356,239	4,515,200

事業	区分(単位:千円)	25年度	26年度	27年度	28年度
		前年度繰越	3,445,154	4,227,999	3,147,450
予算額	当初予算	4,798,844	5,047,000	4,972,000	4,515,200
	補正予算	1,245,986	166,068	239,200	
	合計(A)	9,489,984	9,441,067	8,358,650	6,517,611
	一般財源	456,476	510,448	642,443	386,980
コスト	Aの財源	4,410,000	4,324,000	3,635,000	2,963,000
	国庫支出金	4,623,508	4,606,619	4,081,207	3,167,631
	その他	0	0	0	0
	決算額(B)	5,261,985	6,293,617	6,356,239	
概算	職員数(人)	61.69	59.50	67.59	55.82
	概算人件費(C)	-	-	-	-
	概算事業費(B(A)+C)	5,261,985	6,293,617	6,356,239	6,517,611

項目	H26末(実績)	H27 成果目標の達成状況			H28 目標
		目標	成果	達成状況	
		要配慮者利用施設対策着手数	45施設	51施設	

目標に対する成果の状況	目標を上回る52施設の対策に着手し、土砂災害から災害時要援護者関連施設を守る対策を推進した。
-------------	--

### 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	早期に要配慮者利用施設の保全が図られるよう計画的な事業執行に努める。